

2 歳からの長期ステロイド使用後に全身浸出症状を経て完治へ向かった小児アトピーの経過 (5 歳 小児)

症例 ID：001-05-UH | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

2 歳からアトピー症状が始まり、複数の医療機関でステロイド軟膏を使用していました。平成 8 年 9 月から平成 10 年 1 月 30 日まで約 1 年 5 か月の使用記録があります。

ステロイドを中止後、顔や全身に浸出や掻破がみられ、温泉療法や他院受診なども経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	身体用、顔用のステロイド軟膏を複数医療機関で使用しました。
製品名	ネリゾナ、ケラチナミンとの混合、リンデロンとワセリンの混合などの記録があります。
強度	不明です。
使用期間	平成 8 年 9 月～平成 10 年 1 月 30 日まで約 1 年 5 か月。
中止時期	顔は平成 9 年 11 月 14 日、身体は平成 10 年 1 月 30 日に中止した記録があります。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2 歳頃	発症	アトピー症状が始まり、複数医療機関で治療を受けました。
平成 8 年 9 月～平成 10 年 1 月	ステロイド使用	身体用・顔用の外用薬を使用しました。
平成 10 年 2 月 17 日	中止後 21 日	顔を掻くと汁が出て、全身に掻き傷がありました。
平成 10 年 4 月 1 日	中止後 64 日	膝・足のひび割れが強く、顔から汁が出ました。
平成 10 年 5 月 9 日	中止後 91 日	全身の乾燥、肘・膝からの黄色い浸出液、頬からの浸出、夜間のかゆみが続きました。
その後	経過中	浸出や掻破を繰り返しながら治療を続けました。
記録時点	完治へ	波を伴う経過を経て、完治へ向かいました。

4. ピーク時期

ピークは、脱ステロイド後に顔や全身から浸出液が出て、全身の掻き傷、ひび割れ、夜間のかゆみが続いた時期です。特に脱ステロイド 91 日頃には全身乾燥、肘・膝の黄色い浸出液、頬からの浸出がみられました。

5. 困りごと

- 顔や全身の浸出液、ひび割れ、掻き傷への対応が必要でした。
- 夜間のかゆみにより、睡眠が妨げられました。
- 複数の医療機関や治療法を経て、家族が長期間対応する必要がありました。

6. 経過のまとめ

2 歳頃からのアトピーに対し、約 1 年 5 か月のステロイド使用歴がありました。中止後には全身の浸出液、乾燥、ひび割れ、夜間のかゆみなど強い症状を経験しました。症状には波がありましたが、治療を続け、完治へ向かった小児アトピーの症例です。

症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。